

【速報】第4回公認心理師試験 ブループリント新旧比較表

2021/4/19 河合塾KALS

※今回は変更点・追加点が多いため、配置換えや表現の細かい変更などは省略しています。

配置換えの例…大項目1 公認心理師としての職責の自覚
 ・虐待への対応 中項目(5)から中項目(3)へと移動

表現の細かい変更の例…大項目12 発達
 ・エイジングパラドクス → エイジング・パラドックス

※今回は速報ですが、新規追加キーワードについて、★★☆と★★★を中心に後日資料を作成して公開します。

大項目	旧(第3回試験用)	新(第4回試験用)	赤本2021	注目度
2 問題解決能力と生涯学習	(該当なし)	・心理職のコンピテンシー	p10	★★☆
3 多職種連携・地域連携	(該当なし)	・アドバンス・ケア・プランニング<ACP>	p293	★★★
5 心理学における研究	・人を対象とする医学系研究に関する倫理	(該当なし)	p56	削除項目
7 知覚及び認知	(該当なし)	・知覚・認知機能の障害	p142*	★★☆
8 学習及び認知	・馴化, 脱馴化	・馴化, 鋭敏化	—	★★★
	・ナラティブ, 談話, 会話	・ナラティブ, 談話, 会話, コミュニケーション	p110	★☆☆
	・言語獲得過程(クレーンク, 喃語, 一語期, 二語期, 多語期)	・言語発達過程	p110	★☆☆
9 感情及び人格	(該当なし)	・状況, 認知, 感情, 性格	—	★☆☆
	・個人差, 測定, 検査, アセスメント	・個人差, 測定, 検査, 尺度, アセスメント	—	★★☆
11 社会及び集団に関する心理学	・社会的ネットワーク	(該当なし)	p157	削除項目
12 発達	(該当なし)	・乳児に対する実験法(選好注視法, 馴化・脱馴化法, 期待違反法)	p78 p108	★★★
	(該当なし)	・向社会性, 非社会性, 反社会性	—	★☆☆
	・Asperger症候群	(該当なし)	p182	削除項目
13 障害者(児)の心理学	・合理的配慮	・障害者(児)の基本的権利, 合理的配慮	p216	★★☆
14 心理状態の観察及び結果の分析	(該当なし)	・アセスメント結果のフィードバック	p267	★★☆
16 健康・医療に関する心理学	(該当なし)	・医療倫理, 患者安全	p314	★★☆
17 福祉に関する心理学	(該当なし)	・福祉の基本理念	—	★★☆
	・認知症	・認知症, 軽度認知障害[mild cognitive impairment<MCI>]	—	★★★
	・高齢者虐待	・高齢者虐待, エイジズム<ageism>	—	★★★
	(該当なし)	・高齢者の心理(認知の予備力<cognitive reserve>, エイジング・パラドクス<aging paradox>, 高齢者の意思決定と詐欺被害, 「こころ」の加齢モデル)	—	★★★
	(該当なし)	・アドバンス・ケア・プランニング<ACP>, 人生会議	p293	★★★
	・生活の中の治療	・生活の中の治療, 被虐待児への心理療法	—	★★☆
	(該当なし)	・認知症の行動・心理症状[behavioral and psychological symptoms of dementia<BPSD>]	p185	★★★
	・ミニメンタルステート検査<MMSE>	・精神状態短時間検査-改訂日本版<MMSE-J>	—	★★★
	(該当なし)	・clinical dementia rating<CDR>	p259	★★☆
(該当なし)	(該当なし)	・認知症の人に対する心理支援(回想法・ライフレビュー, 応用行動分析的アプローチ, 認知リハビリテーション, 認知機能の活性化, 診断前後の支援, 認知症の予防と共生)	p353 (一部)	★★★
	(該当なし)	・関係者に対する心理支援(家族介護者・介護職への支援, 養護者・要介護施設従事者等への支援)	—	★★★
	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)
18 教育に関する心理学	・内発的動機づけ, 外発的動機づけ	・動機づけ	p387	★★☆
	・学習性無力感	(該当なし)	p388	削除項目
	・学力, 学習方略	・学力, 学習方略, アクティブラーニング	p390	★★☆
	・教師-生徒関係, 進路指導, キャリアガイダンス	・生徒指導, 進路指導, キャリアガイダンス, 学校文化, 教師-生徒関係	p389 p390	★★☆
	・教育関係者へのコンサルテーション	・教育関係者へのコンサルテーション, コラボレーション	—	★★☆
	(該当なし)	・学校危機支援	p426	★★☆
19 司法・犯罪に関する心理学	・少年非行	・犯罪, 少年非行	—	★★☆
	(該当なし)	・犯罪予防, 再犯予防	—	★★☆
	(該当なし)	・犯罪捜査場面における心理学	p436	★★☆
20 産業・組織に関する心理学	・キャリアコンサルティング	・キャリア形成, キャリア支援	p454	★☆☆
	(該当なし)	・働き方改革	—	★★★
23 公認心理師に関する制度	・医療法, 医療計画制度	・医療法, 医療計画制度, 診療録, 保険診療制度	—	★★☆
	(該当なし)	・成年後見制度の利用の促進に関する法律	—	★★★
	・刑法, 少年法	・刑事法, 刑事司法制度, 少年司法制度	—	★★★
	・保護観察制度	・更生保護制度	—	★★★
	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)

	・家庭裁判所，保護観察所，少年鑑別所，少年院，児童自立支援施設 (該当なし)	・家庭裁判所，保護観察所， <u>刑事施設</u> ，少年鑑別所，少年院，児童自立支援施設 ・職場におけるハラスメント防止対策，労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律<労働施策総合推進法>	— p453	★★★ ★★★
--	-------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------	------------

* 「知覚・認知機能の障害」は，赤本2021 p142の「失語・失行・失認」などが該当するものと思われる。

(総評)

第2回から第3回にかけては，ブループリントの変更点はほとんどなかったが，今回は追加項目が多くあった。

特に福祉領域における，高齢者のQOLや意思決定に関する様々な項目の追加，司法領域における，少年犯罪のみならず，成人の犯罪にも注目するための項目の追加が印象的であった。

とはいえ，新規キーワードに目を奪われ過ぎて，おさえるべき基礎が出来ていないのでは意味がない。確かに新規キーワードは出題されやすいが，必ず出題されるわけではないし，全154題から見ればその割合はわずかである。新規追加キーワードに目を奪われ過ぎることなく，地に足のついた学びをぜひ進めて頂きたい。

(参考・注目度の目安)

- ★☆☆ 学ぶ内容に大きな変化はないと思われるもの。
- ★★☆ 追加前から注目キーワードであったもの。(例：心理職のコンピテンシー)
あるいは，重要ではあるが意味が広く，具体的な対策が難しいもの(例：福祉の基本理念)
- ★★★ 第4回試験に向けて，新しい対策が必要になるとと思われるもの。